

今熊野 | 防災まちづくり

2018/10 NEWS 01



今熊野学区の「防災まちづくり」活動が、いよいよ始動！



9/2（日）に、元今熊野小学校で行われた総合防災訓練にて、「防災まちづくり」コーナーを設置。今年度から今熊野学区で始まる「防災まちづくり」活動について説明させていただきました。皆さん熱心にお話を聞いてくださり、「勉強になった」「相談したい」「自分たちが行動しないと」などの意見もいただきました。アンケートも実施し、154 名の方に回答いただきました。

※アンケートについては、中面へ▶

..... 当日のおさらい

Q 「防災まちづくり」とは？

「防災まちづくり」とは、皆さんの命と財産を守るために、
災害が起こる前から災害に強いまちにする取組です。

Q どんな取組をするの？

命を守るために、**逃げ道を確保する、ブロック塀を改善する、道を広げるなど**、
「いえ」「みち」「まち」の安全を高める取組を進めます。**支援制度もあります！**

裏面
参照

Q 住民の私たちが、まずできることは？

『身の回りで点検』！

災害時避難する際に危険なところはないか、各自点検しましょう！

『一緒に点検』！

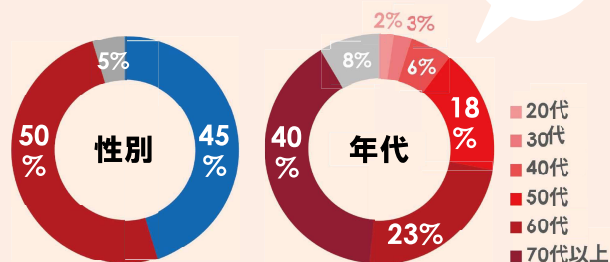
防災まちあるき等を今後企画・実施していきます。一緒に調査しましょう！

災害時
安全に逃げ
られるか
まず点検！

「当日欠席したので資料が欲しい！」という方は、「お問合せ先」までお気軽にご連絡ください！

回答数
154

アンケートへのご協力、 ありがとうございました！



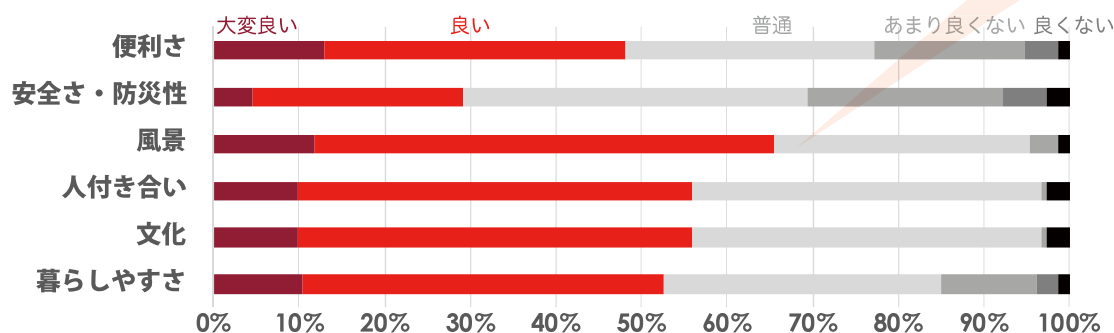
当日は、154 名の方にご回答いただきました。
ご高齢の方も含め幅広い参加があり、今熊野学区の元気さが伝わりました。

トピック 1: 住環境としての評価

地域のよさは、「自然」や「静かさ」！ 一方で、坂道が多く、土砂災害も不安…

まずお聞きしたのは、「皆さんにとっての今熊野」について。
広い学区なので、地域ごとのご意見は分かれたものの、全体
では、以下のような結果になりました。

「大変良い」「良い」を
合わせた回答を比較す
ると、「風景」の評価が
最も高い結果でした。



今熊野の「いいな」と思うところ

- ・「自然・風景」(回答数: 25)
山があり風景がよい、自然が豊かで静か
- ・「静かさ」(回答数: 25)
坂の上の方で空気がおいしい、平穏
- ・「利便性」(回答数: 16)
交通の便がいい

自由記述で回答していただいた『今熊野の「いいな」と思うところ』について、圧倒的に多かった回答は「静かさ」！自然の豊かさとともに回答される方も多く、自然や静かな環境を気に入って暮らしていらっしゃる方が多いことがわかりました。

今熊野の「改善したい」と思うところ

- ・「道の課題、狭い」(回答数: 20)
道を広げたい、電柱をなくす
- ・「坂や階段が多い」(回答数: 12)
坂道で上り下りが大変、でこぼこ道
- ・「店舗が少ない」(回答数: 10)
スーパーが遠い、商店街の活性化

一方で、『今熊野の「改善したい」と思うところ』については、「山が近く土砂災害が不安」「坂が多い(仕方ないけど…)」という回答も多かったです。
良いところと課題は、どこか表裏一体のようです。悩ましいですね。

進めよう！まちの整備！

「防災まちづくり」で、“完全に”安全なまちをつくることは難しいけれど、今よりも少しでも安全にする取組を進めることはできます。

学区が広い今熊野学区では特に、災害時避難するルートの中も安全であることが、大切になってきますね。



緊急避難扉	18
危険家屋除却	63
防災ひろば	29
袋路入り口の補強	8
ブロック塀の改善	66

京都市が用意する支援制度のうち関心が高かったのは、先般の災害でも被害のあった「ブロック塀の改善」。その他、空き家対策を意識していると思われる「危険家屋除却」、そして密集地で一時的にでも退避できる「防災ひろばの整備」も関心が高い点が特徴的でした。

お気軽にご相談ください！ ▶ 京都市まち再生・創造推進室 TEL: 075-222-3508

「皆さんが普段使う道を安全に」

昨今の災害を経験して「気づいたこと」については、「みち」に対する問題意識も高く、「道が狭い」「坂道が多い（特に高齢者にとっては避難さえ難しい）」が多く挙げられました。

よく使う道は、お住まいの町によって異なる結果に。普段から利用する道を念頭に置いた避難計画と、それに基づくまちの整備や対策を、地域の特色にあわせて今後進めていきます。

家が建て詰まっている密集地や路地などの、狭い通りに関する懸念も多い結果となりました。

災害を受けての不安や気づいた点

- ・「**みち**」に関する意見（回答数：20）
 - ・道幅が狭く、緊急車両が入れない
 - ・坂道が多く、避難が難しい
 - ・袋路が多い
- ・「**いえ**」に関する意見（回答数：18）
 - ・空き家が多く倒れそうな家がある
 - ・倒壊すると避難できない
- ・「**まち**」に関する意見（回答数：8）
 - ・古い家が多く密集している
 - ・避難所が遠い
- ・「**その他**」（回答数：18）
 - ・土砂災害の危険性
 - ・非常袋、消火器の確認

「今熊野のまちで、何ができるか、一緒に考えましょう！」

「地域の実情にあわせた対策を考えたい！」と思うと、やはり地域の皆さんの参加は不可欠です。イベント開催の希望日時は、「休日午前」が多かったですが、エリアや年代によっては「平日夜」や「平日午前」のご希望も。少しでも多く参加いただける機会を作れるよう、工夫していきます。

一緒に点検・調査しましょう！ ▶ 裏面の「防災まちあるき」告知をチェック！

身近のブロック塀、安全ですか？

「ブロック塀の安全対策」支援制度のご案内

今年は大変多い年になりましたが、大阪北部地震ではブロック塀での被害に注目が集まりました。

京都市では、ブロック塀の安全対策に対する支援を行っており、道に面している危険なブロック塀について、除却工事費の一部を補助しております。袋路にあるものに対してはさらに手厚い補助があります！無料で点検も行っていますので、詳しくはお気軽にお尋ねください！

▶ 京都市まち再生・創造推進室 TEL: 075-222-3508



倒れると危険！



実施前



実施後

軽量のアルミフェンスにして安全！

「防災まちあるき」を、11月から開始します！

今熊野学区で毎年恒例の「防火講習会」では、11月から「防災まちあるき」も合わせて行います！皆さんのお住まいのまちを一緒に点検しましょう！（年度途中のリニューアルになりますが、来年度までかけて必ず全町回ります！）

告知

11 / 4 日 10:00~
25 日 10:00~

「防火講習会」＋「防災まちあるき」

・対象エリア：南日吉町西部・南日吉町西南部
・集合場所：石東山荘前

・対象エリア：宝蔵町南部・宝蔵町東南部・権現町
・集合場所：元熊野荘



「他の町の様子も見てみたい」「京都市の人や専門家とちょっと話したい」方も、対象エリアに関係なく参加可能です！各町の特色に触れるのも参考になりますよ。

まずは、路地を調査！

これから3年間、よろしくお願いします！

自主防災会を中心とした多様なメンバーで、「防災まちづくりチーム」を結成し、地域の皆さんと一緒に、防災まちづくりの取組を進めていきます。

チーム体制

地域

・自主防災会 ・消防分団 ・自治連合会 ・安心安全ネットワーク

サポート

・専門家：計画づくりのお手伝い、企画運営など
・（公財）京都市景観・まちづくりセンター：専門家の派遣など
・京都市役所：整備事業の支援など ※その他、関連団体等とも、適宜連携していきます。

お問合せ先

地域

今熊野学区自主防災会 電話：075-531-1544（竹島会長宅）
今熊野学区自治連合会 電話：075-525-1058（石井会長宅）

サポート

京都市都市計画局まち再生・創造推進室（担当：岡田、森下）
電話：075-222-3508 / ファックス：075-222-3478